

## 令和3年度 学校園評価シート

園名

加古川市立鳩里保育園

1 保育理念 子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す

## 2 基本方針

- 一人一人の子どもの生き生きとした生活と遊びを育む。
  - 一人一人の育ちと集団としての育ちを大切にする。
  - 日々の保育実践を振り返り、保育士及び保育園の自己評価体制を築いていく。
  - すべての保育士、調理員が協力体制を組んで、子どもの育ちを支援していく。
- 異年齢保育を通して、育ち合う仲間関係を築いていく。
  - 小学校との滑らかな接続を図り、5歳児の育ちを支援していく。
  - 食育を通して心身の健康やよい習慣が得られるようにする。

## 3 保育目標

- ①心身ともに健康な子ども
- ②素直で思いやりのある子ども
- ③自主的・協調性のある子ども
- ④創造性・想像力のある子ども

## 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生活に必要な基本的生活習慣や態度を養う	○明るく元気に挨拶をする。 ○身の回りを清潔に保つ。 ○基本的生活習慣や生理現象は一人一人の子どもの状況に合わせて対応する。	B	子どもたちの意欲を認め自信をつけさせていく。個々に応じた人のかかわりを支援していく。できたことに対しては褒めることにより更なるやる気に繋げていく。家庭との連携を取り子どもたちの気持ちに寄り添いながら取り組んでいく。
心身の健康の基礎を培う	○身体を十分に動かして遊ぶ。 ○各年齢に合った遊びをする。	A	今後も一人一人に合わせて無理のないよう、楽しくできる遊びを提供していき、体力の向上に努めていく。リングジム・雲梯・のぼり棒・鉄棒など年齢に応じて目標を決めて取り組んでいく。毎朝の体操・リズム遊び・マラソン等を行うことにより体力の向上が見られるので続けていく。
様々な人とかかわりを喜び、思いやりの気持ちを持つ	○ボランティアの方とのふれあいを楽しむ。 ○異年齢児との交流を図る。	B	野菜作りのボランティアの方々と触れ合い、食物の生長と一緒に喜ぶことができた。だが、一緒に遊んだり歌をうたったり行事に参加したりすることは、コロナ禍のなかでできなかった。戸外では異年齢児との交流ができた。遊戯室で行事等に一緒に参加するときにはマスクをするなど工夫して行った。これからも感染予防の対策を考えていく。
生命、自然及び社会の事象に対する興味や関心を育てる	○食育計画に沿って食に関する関心を持つ。 ○様々な植物の生長を観察したり栽培収穫することを楽しむ。 ○季節の野菜の栽培収穫したものを食べるまで体験する。	B	新型コロナウイルス感染防止の観点から、クッキングやバイキングといった食に関する行事が中止せざるを得なかった点が残念だった。様々な植物の栽培や収穫し食すことは、例年通りの実施ができた。昨年度に比べて、野菜や果物の収穫量や大きさなどが豊作だったので、子どもたちにとっては良い経験ができたと思う。今後も続けていく。
職員の資質向上を図る	○職員研修を充実させる。	B	園内研修は充実させることができたが、コロナ禍のため他園との交流や意見交換がなかなかできなかった。リモートでの研修のWEB環境が整うよう要望していく。